



AUE News

2013年3月15日

第 58 号

編集・発行
愛知教育大学広報チーム
TEL 0566-26-2738
FAX 0566-26-2500



目次

- 行事予定(3月16-31日)
- トピックス
 - ・外部評価委員会
 - ・理科実験プレ教員セミナー
 - ・財務部 SD 勉強会
 - ・かりやでアートおさんぽ展 2013
 - ・訪問科学実験シンポジウム
 - ・吹奏楽団 第56回定期演奏会
 - ・天文台 第80回一般公開
 - ・個別学力検査等後期日程
- ・教員研修留学生修了証書授与式、外国人留学生卒業・修了懇談会
- ・管弦楽団 第78回定期演奏会
- ・音楽科 卒業・修了演奏会
- お知らせ・報告・投稿
 - ・公開シンポジウム「教員養成の高度化を目指した6年教員養成プログラムの可能性」
 - ・フラクタル日よけを設置
 - ・附属図書館新コーナー「BOOKナビ」
 - ・催しもの案内

行事予定(3/16-31)

- 19日(火) 役員部局長会議 (13:00～ 学長室)
評価委員会 (役員部局長会終了後、学長室)
教員人事委員会 (15:00～ 第五会議室)
- 21日(木) 財務委員会 (13:00～ 第五会議室)
- 22日(金) 卒業式 (10:30～ 講堂)
代議員会 (14:00～ 第五会議室)
大学院修了式 (18:30～ 第五会議室)
- 26日(火) 役員会 (13:00～ 学長室)
- 28日(木) 経営協議会 (14:00～ 第三会議室)
顧問会議と経営協議会との合同会議 (15:30～ 第五会議室)
- 29日(金) 臨時役員会 (9:30～ 学長室)
安全衛生委員会 (15:00～ 第五会議室)

トピックス

外部評価委員会(3/1)

法人化後初めての外部評価委員会が、3月1日(金)午後1時30分から、本学第三会議室で開催されました。

今回の外部評価では、松田正久学長が選定・委嘱した学外有識者4人に委員をお願いし、本学が自己点検評価の結果を取りまとめて発行した「自己点検・評価報告書2011」の中から、「教育活動」「研究活動」「地域連携」の3項目を対象に、客観的で透明性の高い評価を行っていただきました。

当日は、外部委員3人(野村委員は愛知県





議会開催中のため欠席)と、松田学長をはじめとする学内関係者23人が出席して、事前調査では確認できなかった事項を中心に、非常に活発な質疑応答・意見交換が展開され、最後に本間委員長が講評を行い、午後4時45分に閉会しました。

なお、この外部評価の様子や評価結果については、本学の教育研究活動や組織運営の更なる発展・充実を図るために「外部評価報告書」として取りまとめ、本学ウェブサイト等にて公表する予定です。

◆外部評価委員会委員 (50音順)

野村 道朗 氏 (愛知県教育委員会教育長) ※当日は、御都合により欠席

早川 操 氏 (名古屋大学大学院教育発達科学研究科長)

本間 謙二 氏 (北海道教育大学長) ※委員長

鷲山 恭彦 氏 (大学評価・学位授与機構 客員教授 / 前東京学芸大学長)

(総務課 大学評価係長 原田佳秀)

理科実験プレ教員セミナー(3/4-14)

今春から小中学校の教員になる学生を対象にした「理科実験プレ教員セミナー」が、3月4日(月)～14日(木)、自然科学棟で行われました。同セミナーは、理科実験指導の不安解消の助けになるようにと、本学の科学・ものづくり教育推進センターが主催しています。

中学校理科教員のためのセミナーは4日から14日にかけて、物理A・B、化学、地学、生物A・Bの計6実験講座。霧箱や水の電気分解、DNAの抽出、放射線測定など中学校教員として知っておくべきことを、実験・観察を中心に実施され、4年生だけでなく2・3年生も含めた延べ39人が参加しました。

小学校教員のためのセミナーは5日(火)に、生物、化学、物理、地学の計4講座。顕微鏡の使い方、化学薬品と実験器具の取り扱いの基本など、小学校教員として最低限知っておかなければならない実践的な内容に絞り、理科を専門としない学生でも理解できるようにと、各教員が丁寧に指導しました。受講した学生は大学院生から2年生まで延べ21人で、本学だけでなく他大学の教員を目指す学生も参加し、それぞれの実験・観察に真剣に取り組んでいました。

財務部 SD 勉強会(3/5)

3月5日(火)午前11時から第三会議室で、第1回の財務部SD勉強会が開催されました。

このSD勉強会は、会計事務を担当・経験した職員が減少する中、若手職員は、日常業務に追われ、基本的な会計規程、関連する法規や担当する業務の本来の意義等について学ぶ機会が少なくなっていた現状を改善するため、福井豊財務部長が、かねてから構想されていた研修です。

勉強会は、部長・室長または係長が、係員等との間で会計力をつけるため、通常事務の背景にある会計の取り決めなどに焦点をあて、職員相互間で研鑽することを目的に企画されました。



財務部(財務企画課・施設課)の主任相当職員を対象に、今後も原則、部長または室長がテーマを決め、それについて討議する方式で、月に1、2回程度、各人の業務の負担とならないように配慮し、30分から1時間、実施することになっています。

初回である今回のテーマは、「会計機関について」と「契約について No.1」。部長と室長が講師になり、財務部若手職員10人が参加しました。

参加者の意見・感想等を取り入れながら実施方法、テーマおよび内容を改善して実のある勉強会にしていきたいと考えています。
(財務部経理調達室長 加藤昌)

かりやでアートおさんぽ展(3/5-17)

街を散策しながら買い物とアートを楽しむ「かりやでアート おさんぽ展 2013」が3月5日(火)から刈谷駅周辺の商店街で開催され、本学の学生らが参加しました。17日(日)まで。



同展は、刈谷駅前商店街振興組合と本学美術科の学生らでつくる実行委員会が主催。学生・卒業生計22人が彫刻や絵画、現代アートの作品を郵便局、衣料品店、居酒屋など12カ所に彫刻や絵画、版画などの約30点を展示し、それらを巡ってスタンプラリー形式で街歩きをしてもらおうという催し。八百屋さんの店頭には「はく製『新種の生き物』」と題した作品、洋菓子店には本物そっくりのお菓子の木の工芸作品など、個性的な作品で街のにぎわいに一役買っています。

参加した学生・卒業生は「街の中なので、親子連れなどが通りかかって作品を見てもらえるのがいい」「卒業してしばらく作品づくりから離れていましたが、これをきっかけに再開したい」などと、展示に参加した感想を話していました。



訪問科学実験シンポジウム(3/9)

訪問科学実験シンポジウムが3月9日(土)、本学で開催されました。訪問科学実験は、文部科学省特別教育研究経費「科学・ものづくり教育推進に関する拠点づくりの取組」の活動の一環として学生が自主的・主体的に活動しており、学校等に出向く活動を通して、将来教員を志望する学生の意欲や資質の向上と子どもたちの理科を学ぶ意欲や科学への関心を高めることを目的としています。本年度は、学校等で26件活動することができました。シンポジウムは1年間の活動の総括として行われました。

本年度訪問科学実験を実施させていただいた学校・団体等の方々、大学教員・学生等、合わせて約50人が参加しました。松田正久学長からのあいさつ、学生執行部からの年間活動報告、新教材の紹介などの後、実施学校の先生方から実施状況、子どもたちの反応等を報告していただきました。最後に来年度の学生代表が今後の活動計画を説明し、閉会しました。

新教材の「にぼしの解剖」「渦のひみつ」「地震に負けるな」「ペンのいらぬ紙」を披露し、貴重なご意見を伺うことができ、大変充実した時間となりました。これらを今後の活動に生かし、来年度もより多くの学生・子どもたちが本活動に参加し、楽しむことができるようにしていきたいと考えています。

(訪問科学実験学生執行部 中等・理科専攻3年 川島太一)



吹奏楽団 第56回定期演奏会(3/9)

本学吹奏楽団による定期演奏会が3月9日(土)、安城市民会館サルビアホールで行われまし

た。

年に一度の演奏会は今回が 56 回目。第 1 部は学生指揮によるステージで「自由な心よ 空高く舞え」「波の通り道」など 3 曲。第 2 部は企画ステージ「夢見る絵本作家ーステキな絵本をつくりには?ー」と題して、絵本づくりに悩む作家が本に描かれた妖精たちに助けられて、夢だった素敵な絵本を完成させるまでの物語を、独自の演出で表現しました。メインとなる第 3 部では、バレエ音楽の名作「ロメオとジュリエット」に、音楽総監督・常任指揮者の小松孝文さんのタクトで挑戦。3 部構成のドラマチックな演奏に、観客から大きな拍手が贈られました。(写真はリハーサルの模様)



天文台 第 80 回一般公開(3/9)

本学天文台の第 80 回一般公開が 3 月 9 日(土)午後 5 時から行われました。ミニ講座、3D 上映、観望会に子どもから大人まで幅広い方々、41 人が参加しました。



午後 5 時からのミニ天文講座では、澤武文研究室の 4 年生が卒業研究の内容を発表。「惑星はどうやってつくられる？」を伊藤実彩、「重力多体系による銀河の形状シミュレーション」を臼井僚、「NGC7769 と NGC7771 の銀河衝突シミュレーション」を川原綾果がそれぞれ担当しました。質問コーナーでは、惑星、銀河についてなどいくつか参加者から発言がありました。発表担当の学生は参加者の質問にきちんと応え、時折、澤教授が解説の補助をしていました。

午後 6 時からの観望会では、春の暖かさが訪れ、観望会の予定終了時刻を過ぎて、多くの参加者が春の夜空を楽しみました。直径 40cm の天体望遠鏡では、木星やカノープス、アルデバランなどを観望。木星では、衛星イオの影が木星に写る現象を見ることができました。観望会と同時に 3D 上映「宇宙の旅」も行いました。1 回 20 分の上映を 1 番組、澤研究室の 3 年生を中心に解説をしました。

今回の一般公開は黄砂の飛来のため夜空が霞んでいたにもかかわらず、木星の位置が良く細かく観察することができ、参加者の皆さんにも満足していただけました。

(自然科学コース 宇宙物質科学専攻 4 年 伊藤実彩)



個別学力検査等後期日程(3/12,13)

2013 年度入学の個別学力検査等後期日程が 3 月 12 日(火)、13 日(水)に第一共通棟などで実施されました。

志願者は 1,154 人、うち 494 人が受験。午前 8 時前から受験生が訪れ、出身校や塾の先生からの激励を受けて、会場へ。それぞれ志望する選修・専攻・コースの筆記や実技の試験などに挑みました。合格者は 3 月 23 日(土)の午後 1 時に講堂で発表され、大学の公式ホームページでも公表されます。

教員研修留学生修了証書授与式、外国人留学生卒業・修了懇談会(3/13)

2012 年度の教員研修留学生修了証書授与式が、3 月 13 日(水)に学長室で行われました。修了生であるインドネシアからの留学生トーマス・ウィダヤ・アンドリアントさん、松田正久学長、理事、国際交流センター長、同センター教員と指導教員が出席。松田学長から修了証書と記念品

が授与され、続く学長告辞では留学生生活をねぎらうとともに、今後の活躍へ向けての激励の言葉が贈られました。

修了生のあいさつでは、本学の支援に対する謝辞に加えて、留



学中に起こったハプニングやエピソードがユーモアたっぷりに披露され、出席者の笑いを誘いました。今年度の教員研修留学生はトーマスさん1人でしたが、他の留学生や日本人学生、また地域団体との活発な交流を通じ、大変有意義な留学となったようです。



*

*

式終了後には本年度で本学を卒業・修了する留学生を祝福する懇談会が大学会館ロビーで開催されました。本学の国際交流活動に支援をいただいている、愛知県地域振興部、刈谷市役所・刈谷市国際交流協会、知立市国際交流協会、アイシン精機株式会社、株式会社サンスタッフ、留学生が居住するアパートの家主の方々を来賓として招き、学内関係者を含め約 70 人が参加する盛会となりました。

来賓の方々から寄せられた温かい言葉を受け、修了生代表としてあいさつをした韓国人留学生キム・ユリさんは、留学中に受けた多くの支援に対する深い感謝とともに新しい生活へ向けての力強い決意を述べました。

本年度は、42 人の留学生が卒業・修了。進路はさまざまですが、本学で学んだ成果を十分に活かし、それぞれの道での活躍が期待されます。



(教育創造開発機構運営課 国際交流担当 宮内春菜)

管弦楽団 第 78 回定期演奏会 (3/13)

本学管弦楽団による「第 78 回定期演奏会」が 3 月 13 日 (水)、名古屋市中区の愛知芸術劇場コンサートホールで行われました。



プログラムの前半は、ドボルザーク作「スラブ舞曲 第 1 集 第 1 番」、チャイコフスキー作「幻想序曲『ロメオとジュリエット』と、明るく軽快な舞曲、ドラマチックな展開の名作。後半は客員指揮者に中村暢宏氏を迎えてのドボルザーク作「交響曲 第 8 番 ト長調 Op. 88」。熱演に、

客席から歓声と大きな拍手がわき起こりました。さらに、アンコールではチャイコフスキー作「眠れる森の美女」からワルツが披露され、優美な演奏で聴衆を魅了しました。

音楽科 卒業・修了演奏会 (3/14)

本年度の「音楽科 卒業・修了演奏会」が 3 月 14 日 (木) 午後 5 時から、名古屋・伏見の電気文化会館で開催されました。

音楽教育講座の主催で、声楽、ピアノ、管弦、作曲の各ゼミから成績優秀者計 15 人が参加。晴れの舞台とあって、出場者も正装で登場し、それぞれ研究の成果を披露しました。最後は水野麻史さん作曲の女性合唱組曲を音楽科有志が合唱すると、



会場いっぱいの聴衆から大きな拍手が贈られて、演奏会は幕を閉じました。



お知らせ・報告・投稿

公開シンポジウム「教員養成の高度化を目指した6年教員養成プログラムの可能性」(報告)

本学6年一貫教員養成コースでは、教員養成の一層の充実を図るため、2月15日(金)、公開シンポジウムを開催しました。文部科学省から君塚剛教員養成企画室長補佐と木谷慎一教育大学係長、愛知県教育委員会から柴田和明指導主事、知立市教育委員会から川合基弘教育長、豊田市立童子山小学校から深津錦司校長をお招きし、基調講演並びにパネルディスカッションを行いました。

シンポジウムでは、2年間プラスアルファで学ぶ意義について議論となり、コースの学生からは、「優れた質の高い教師は研究者としての一面も兼ね備えている。課題意識を持って研究するというプロセスは、6年一貫コースに入らなければできなかった」「4年で卒業した後の2年間で多くの教育現場を見ることができ、自分の中の教育観を深められる」という意見が出されました。また、学外の参加者からは、コースの学生の姿を通して本学の6年一貫教員養成という試みが高く評価されました。なお、シンポジウムの詳細は、大学教育研究重点配分経費による研究報告書をご参照ください。

問い合わせ先：kmajima@aeucc.aichi-edu.ac.jp

(社会科教育講座 准教授 真島聖子)

フラクタル日よけを設置(お知らせ)

附属図書館前の広場に2月末、新しい日よけが設置されました。



この日よけは、エコキャンパスづくりの一環として、温熱環境改善のための実験に来年度利用するために導入。日よけは高さ2.3m、縦3.6m、横3.7m。穴だらけの構造なので、これで影が落ちるのかと思われるかもしれませんが、日差しが強い夏のお昼ごろには、その下をほぼ100%覆うように影が落ちます。この形状はシェルピンスキー四面体を模倣したもので、一般の樹木と同じフラクタル次元を持っています。特徴は、日よけ自体が熱くならないことです。すだれやパラソルなどの日

よけは、実はそれ自体が熱くなって輻射熱を出しています。そのため、それらの日陰で涼んでいても輻射熱で熱いと感じてしまいますが、このフラクタル日よけは、輻射熱をほとんど感じる事がなく日陰で過ごすことができます。この下に入った時の「涼しい」という感覚は、気温が変わったのではなく、輻射熱の変化によるものです。

また、時間帯や季節によって影の形や位置が変化しますので、それもぜひ楽しんでください。普段気にすることがない太陽高度や方位の変化を、年間を通して感じることができます。



(保健環境センター 研究員 中村美紀)

附属図書館新設コーナー「Book ナビ」(お知らせ)

本学附属図書館の新たな試みとして、『Book ナビ』を設置しました。

『Book ナビ』とは、「そこに行けば興味のあるテーマが見つかる、読みたい本が探せる」



【わかりやすい本棚】を目指し、特定のキーワードを基に、図書を集め、貸し出せる、図書館を利用しやすくするための新コーナーです。キーワードは定期的に変更していく予定です。

コーナー内でアンケートも実施しますので、今後取り上げてほしいキーワードやご意見・ご感想等をお寄せください。

現在『Book ナビ』設置を記念して、3月下旬まで附属図書館アイ♥スペースにて特別展として展示会形式にて図書を展示・貸出しています。ゆったりと本を読める空間になっていますので、期間中はこちらをご利用下さい。また、4月以降は図書館入口の新着図書コーナー横に『Book ナビ』専用書棚が設けられますので、来館の際はぜひお立ち寄りください。

1人でも多くの利用者が、図書と触れ合うための道案内ができることを願っています。

(情報図書課資料受入担当 沓名正樹)

催しもの案内

◆第104回劇団把^o 夢(ぼむ)卒業公演「アローン・アゲイン」

3月16日(土) 13:00、17:00

17日(日) 11:00、15:00 前売り800円、当日1000円

七ツ寺共同スタジオ(名古屋市中区大須2)

問い合わせ: <http://www.geocities.jp/gekidanpamu/alone-agein/top.html>

◆教育臨床総合センター 第3回講演会「子育てに悩んだときのヒント」

3月17日(日) 13:30~17:00 参加無料

名古屋国際会議場2号館 234会議室(名古屋市熱田区)

プログラム: 第1部 深津千賀子氏(大妻女子大学特任教授) 基調講演「育児不安、児童虐待の親支援を考える」

第2部 シンポジウム 指定討論者・深津千賀子氏、シンポジスト・祖父江典人、廣瀬幸市、三谷聖也、原田宗忠(本学教育臨床学講座教員)

問い合わせ: 教育創造開発機構 教育臨床総合センター 心理教育相談室

E-mail: t-sakai@aeuacc.aichi-edu.ac.jp

◆招へい教職員による講演会(第6回)

3月27日(水) 17:00~18:30 事前予約不要

大学会館2階「中会議室」

講師・題目: 林惠娟(Huey Jiuan LIN)氏

(台湾・国立聯合大学 物質科学工学部教授)

「Application of Numerical Modeling in Materials Processes」

黄素真(Shug June HWANG)氏

(台湾・国立聯合大学 電気工学部教授)

「Development of Liquid Crystal Devices」

※講演は英語で行われます。

問い合わせ: 教育創造開発機構 国際交流センター

TEL 0566・26・2179

◆日本教科学学会準備大会

3月30日(土) 9:30~16:30 参加無料、当日受付

名古屋国際センター(名古屋市中村区那古野1 電話052・581・5678)

主催:日本教科学学会準備会、愛知教育大学

内容:9:30~受付、9:50~オリエンテーション

10:00~特別研究報告

- ① 稲葉みどり(愛知教育大学)「日本語教科学の構想」
- ② 古田真司(愛知教育大学)「保健教育の教科学の構想」
- ③ 松永泰弘氏(静岡大学)「ものづくり教科学の構想—実践の評価を中心に—」
- ④ 土田理氏(鹿児島大学)「教員の理科意識と理科教科専門・教科教育」
- ⑤ 伊藤裕康氏(香川大学)「社会科における教科専門と教科教育」

13:30~シンポジウム「教科学を創る」

パネリスト:大野栄三氏(北海道大学教授)

酒井博世氏(名城大学教授)

子安潤(愛知教育大学)

コーディネーター:折出健二(愛知教育大学副学長)

16:00~準備会総会

問い合わせ:日本教科学学会準備会事務局

都築繁幸 stsuzuki@aecc.aichi-edu.ac.jp

編集後記

22日は卒業・修了式。今年も多くの学生が社会へ、新たな学びの場へと巣立っていきます。式の記録写真を撮影していると、愛教大での学生生活はどうだっただろうか、この大学でよかったと思ってもらえただろうか、そんなことが頭をよぎります。今春修了するロンドン五輪陸上1600mリレー日本代表の大学院生・中野弘幸さんは以前、「愛教大の自由な雰囲気は自分を成長させてくれた」と話してくれましたが、卒業・修了生の一人ひとりが何らかの収穫の手ごたえを感じてくれていればいいなと思わずにいられません。今年は桜の開花も早まって、“旅立ち”に花を添えてくれそうです。(K)

投稿のお願い

学内外の出来事(教育・研究・地域連携・国際交流・学内事業など)に関するニュースの提供をお待ちしております。

メール:kouhou@m.auecc.aichi-edu.ac.jp 編集責任者:総務担当理事 折出 健二